

**日刊アマゴルフ2024**  
**シングルプレーヤーズゴルフ選手権東日本大会**

開催日：2024年7月2日（火）  
開催コース：レイクウッドゴルフクラブ・西コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則と、このローカルルールと競技の条件を適用する。  
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規則やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。  
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰（2罰打）」となる。

ローカルルール

1. アウト・オブ・バウンズ(規則18.2)
  - (a) アウトオブバウンズは白杭のコース側の地表レベルで結んだ線によって定められる。
  - (b) 6番と7番ホール間の白杭を結んだ線を越えて止まった球は、他のホールではインバウンドとなるコースの別の部分に止まったとしてもアウトオブバウンズである。
  - (c) 7番、8番ホールの左側の黄縞杭を結ぶ線を越えて隣接ホールに入った場合は、OB扱いとする。
  - (d) 8番、9番ホールの右側の黄縞杭を結ぶ線を越えて隣接ホールに入った場合は、OB扱いとする。
  - (e) 7番、8番、9番以外の黄縞杭は適用しない。(黄縞杭は動かさない障害物とする)
2. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則16)
  - (a) 修理地  
青杭を立て、白線で囲まれた区域。
  - (b) 動かさない障害物
    - (1) 排水溝
    - (2) 黄黒の縞杭
    - (3) 距離表示用の人工のヤーテージマーク(距離標示用の杭を除く)
    - (4) 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。
    - (5) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。
    - (6) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。
3. プレー禁止区域

電磁誘導カート用の2本のレーン(白線でつながれている区域を含む)は、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則16.1fに基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。但し、スタンスにだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
4. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

  - (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
  - (b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
5. 保護フェンス

1番ホール左側の保護フェンスに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則16.1により処置するときは、その障害物の中や下や上を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

## 6. クラブと球の規格

(a) ストロークを行うために使うドライバーはR&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰: 失格

## 7. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない:

伝統的なスパイク。すなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは、複数の鋳を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。

このローカルルールの違反に対する罰: 規則4. 3参照

## 8. プレーの中断と再開(規則5. 7)

(a) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならず、委員会がプレーを再開するまでは、別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰: 失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることもある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則5. 7b、c、dに従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

即時中断: 通常の中断: プレーの再開:

上記、すべてキャディーが携帯する無線を通じてプレーヤーに連絡する。

## 9. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う、または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

## 10. キャディー

プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰: 違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。

## 競技の条件

### 1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

### 2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

### 3. 競技終了時点

競技委員が定めた、成績掲示をもって終了したものとみなす。

## 注意事項

- ローカルルール7項において規制されたシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止しすることがある。
- プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合は「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則1. 2aおよび20. 2に基づいて失格とする場合がある。

3. ラウンド中、コース内でのスマートフォンおよび、携帯電話などの通信機能の使用を禁止する。
4. 悪天候等により、委員会が競技途中中止を決定した場合、9ホール終了時点で競技を成立させることがある。
5. スタート時間の30分前には大会受付を済まし、10分前には必ずティーイング・グラウンド付近にて待機すること。
6. 指定練習グリーンではパッティングのみとし危険防止のためアプローチ練習は禁止する。
7. 9ホール終了後の練習は指定練習グリーンでのパッティング練習のみとし、アプローチ練習及び打ち放し練習場での練習は禁止する。またスタート前の練習場は、1コインまでとする。
8. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に開けないように注意のこと。プレーの不当な遅延にはペナルティを課す場合がある。
9. ギャラリーは、コース内に立ち入る事を禁止する。
10. ティー・マークは、日刊アマ専用ティーをスターティングホールのみを使用し、他のホールは「青ティー」を使用する。
11. 乗用カートを使用します。クラブを運ぶ機器として扱い、選手が移動の際に乗用する事も許可いたしません。
12. 予選通過者は上位23人とする。
13. シニア特典として、予選通過者の中に55歳以上のシニア選手2人以上いない場合は、シニア最上位、次点選手も予選通過とみなす。また、グランドシニアに関しても、最上位選手を予選通過とみなす。
14. 通過者にタイが生じた場合、マッチングスコアカード方式により通過者を決定する。
  - \* マッチングスコアカード方式は①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順にスコアを比較し順位決定
  - ① 10番から18番ホールの合計スコア
  - ② 13番から18番ホールの合計スコア
  - ③ 16番から18番ホールの合計スコア
  - ④ 18番ホールのスコア
  - ⑤ 4番から9番ホールの合計スコア
  - ⑥ 7番から9番ホールの合計スコア
  - ⑦ 9番ホールのスコア

## 追伸

### 関東ファイナルQT(敗者復活戦)の参加資格について

敗者復活戦への参加資格を、参加予選会場の予選通過スコアから+4打までの選手とする。

～日刊スポーツ新聞社、競技委員会～